

座敷舞の魅力

舞の心

1999

作品ナンバー0553

文部省選定 2000年キネマ旬報文化映画ベスト・テン第10位

歌舞伎舞踊から発生し、江戸で発展した「踊り」に対し、上方と呼ばれる京都・大坂を中心に盛んになった「舞」―「座敷舞」。鑑賞のための手引きとなるよう、特色や魅力をわかりやすく紹介する。

■出演

四世井上八千代（上方唄「猩々（しょうじょう）」）

井上三千子（地唄「邯鄲（かんだん）」）

榎茂都梅加（地唄「雪」）

山村 若 山村久子（地唄「蛙（かわず）」）

吉村雄輝夫（地唄「桶取（おけとり）」）

武内駒香 上村和歌子（唄・三味線） 他



舞と踊りは、日本舞踊の両輪である。歌舞伎舞踊から発生し江戸で発展した「踊り」に対し、花街の座敷や御殿の中で育った京都・大坂を中心とする「舞」は、上方舞と呼ばれる。その風土の中で独自の風格と気品を育ててきた座敷舞。

国立劇場公演の「舞の会」の舞台を中心に、京都・大阪での稽古風景を加味し、京舞の人間国宝でもある四世井上八千代の舞い姿など、「舞」を本格的に取り上げ記録した。

記録

フィルム

カラー／33分

■企画

日本芸術文化振興会
国立劇場

■協力

祇園甲部歌舞会
祇園：豆千鶴・小亜
希・幸子
山村流門弟
お茶屋ふじ原
吉村古ゆう
観世安寿子

■資料提供

東京国立博物館
サントリー美術館
徳川美術館
日光山輪王寺

スタッフ

■製作

村山正実

■脚本・演出

原村政樹

■撮影

西山東男
山屋恵司
木村光男

■撮影助手

今野聖輝
藤江 潔
田中龍雄

■照明

倉田有造

■録音

堀内戦治

■タイトル

佐藤 豪

■編集

吉田栄子

■ネガ編集

加納宗子

■語り

石原 良